

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改
	善	善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	川西市教育委員会 こども未来部 こども支援課	
区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	児童福祉法や条例に則り、18歳未満の児童を対象に、設置目的である児童の健全な育成を図りました。 各事業に関しては、新型コロナウイルス感染対策として、開催時間の変更や参加人数制限を行うとともに事前申し込み制とし、密を避けながら行いました。また、行事においては、自宅で制作してもらったものを館内に展示しました。 更に川西児童館と連携を取り、合同事業を開催することができました。	A	市の設置目的に沿い、児童の健全育成に寄与し、また新型コロナウイルス感染対策を踏まえ、事業の実施を工夫して行い、川西児童館と連携を図るなど、積極的に事業を展開し、事業運営に成果を得ることが出来ている。	意見なし。	
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	初回利用の方は、川西市在住であることを確認し、登録手続きとして、住所、氏名、生年月日、連絡先電話番号を記入していただき、緊急時や忘れ物等で連絡等を行っています。 また、利用時には、新型コロナウイルス感染対策として、来館時に氏名、連絡先等の聞き取りと検温、体調、マスク着用の確認を行いました。	A	利用に係る登録方法や利用に関し、適切かつ丁寧に対応されている。また、感染対策も徹底されている。	意見なし。	
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	市の広報誌や施設のホームページへの掲載、LINE配信で情報を発信しました。(計38回)登録者も150人を超えました。 緊急事態宣言等で、施設の閉館や事業の取りやめ等の情報を発信できたため、保護者へより早く情報を届けることができました。	A	広報誌への掲載に加え、LINE配信を活用した情報発信により、利用者の利便性を考慮した取り組みが出来ている。また、情報をより早く伝えることができ、個人情報の漏洩にも十分注意されていた。	意見なし。	
< 課題 >		コロナ禍で、子育て中の親子が遊べる場所や、子ども同士が遊びを通して関われる所が限られていることで、子育て中の親子の孤立を防ぐ居場所の確保が必要です。		子育て中の親子の孤立を防ぐ居場所の確保のため、具体的な事業展開と伝え方の工夫を検討していただきたい。	意見なし。	
< 改善内容 >		コロナ禍においても何か事業ができないかを考え、自宅で制作してもらったものを館内に展示するなど工夫して実施しました。		展示を行う等の工夫と、親子の孤立を防ぐ居場所の確保との関連を踏まえた事業の展開に期待します。	意見なし。	
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	新型コロナウイルス感染対策により自主事業の中止や人数制限などの中、可能な限り事業を計画し、実施しました。 なお、緊急事態宣言の発出に伴い閉館となった時期も、子育て相談事業は継続して行いました。	A	コロナ禍における工夫を行いながら事業を継続され、施設の目的に沿って活用されている。	意見なし。	
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	利用制限がある中でも実施できる事業を模索検討し、季節の行事としてハロウィン、クリスマス、ひなまつりの工作を自宅で行ってもらい施設内で展示しました。うち1回は初めての試みとして、川西児童館と連携し、クリスマス制作を合同で開催しました。このように対面での密を避けるような事業を行いました。(年3回120人参加) また自主事業が可能な時期には、参加人数を減らし、開催時間も短縮するなど工夫して事業を計画しました。	A	川西児童館と連携し、共同事業を通して意見交換を行い、メリットを実感されるなど、創意工夫が図れた。利用者数は前年比142.4%と増加した。	意見なし。	
< 課題 >		放課後の児童の利用において、子ども同士の距離の取り方や、熱中症対策が必要な時期の運動遊び時の感染対策をどのようにしていくか考慮しながらの見守りが必要です。 また、今後、オンライン事業もできるような環境整備が必要です。		児童館を利用する児童生徒が安心安全に過ごせるようなルール作りと環境の整備をお願いします。また、相談業務や参加申し込みなど、オンライン環境の整備については、引き続き検討されたい。	意見なし。	
< 改善内容 >		コロナ禍での事業実施に向けて、時間短縮や参加人数を変更しながら継続して行うことができるように模索し、変更をしました。 また、試行的に川西児童館との連携事業を実施しました。互いの施設のPRにも繋がるため継続実施するよう進めています。		コロナ禍における事業の実施内容の見直しや内容の工夫など、安心安全に利用が出来るよう、また、川西児童館との連携により、新しい事業計画に期待します。	意見なし。	
(1-3) 利用者の満足度	A		B		(1-3) 利用者の満足度	
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	利用されている保護者や児童を対象に、3月15日から25日までアンケートを実施しました。保護者(22人)、児童(115人)の回答がありました。	A	保護者、児童を含めて利用者のアンケートを実施したことは評価出来る。	意見なし。	
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	アンケートでは、今後の集団生活がスムーズに取り組むことができるようにしていきたいという要望から、事業内容にもルールのある内容を取り入れながら、実施することで保護者の安心感を得ることができました。	A	利用者のニーズを把握し、ニーズに沿った内容の事業を実施し、保護者の安心感を得ることが出来ている。	意見なし。	
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	児童に対する職員の不適切な対応により怪我を負わせる事案がありました。 子ども支援課及び本部事務局と連携し、誠意をもって対応しました。	C	事案に対し丁寧な対応が出来ているが、職員に対する研修等再発防止策の具体的な方法を期待します。	意見なし。	

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	川西市教育委員会 こども未来部 こども支援課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	コロナ禍で、お友達と関わる機会が減り、我が子がお友達と一緒に遊ぶことや、集団の中での対応ができるかという声があり、事業内容の中に取り入れることでニーズに対応しました。	A	アンケートだけでは把握しきれないニーズの把握に努め、ニーズに応じた事業が展開出来ている。	意見なし。			
サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	事業実施後に反省点や問題点などを職員間で共有しています。それにより、事業内容の改善へ繋げるとともに職員同士で共有を図ることができました。	B	施設の趣旨や目的などを改めて確認し、その達成に向けて対応できるよう、質の向上に向けた具体的な取組みを考慮されたい。	意見なし。			
< 課題 >	コロナ禍での子育て中の保護者の必要とするニーズに対応できるような事業展開を行うことです。現在、LINEで事業案内を主に発信していますが、今後は、子育て情報などの発信やWebでの事業参加申込を導入し、利用者の利便性の向上を図る必要があります。		利用者の利便性に応じてLINEを活用していることは評価でき、今後も活用することで、利用者が利用しやすいよう改善していかれることを期待します。		意見なし。			
< 改善内容 >	プレイルーム利用の保護者や児童に積極的に声をかけ、今後もきめ細かな対応をすることで必要とされている事を把握し、安心して過ごせる場の提供ができるように心がけました。 また、課題であった駐車場について、4月から市が暫定的ではありますが確保していただき利用者の利便性が向上しました。		利用者のニーズの把握に努め、利用者が利用しやすいよう事業の工夫をされ、より活性化できる施設となることを期待します。また、利用者が安心安全に利用できるよう、環境を整備し、より活性化できる施設となることを期待します。		事故等があったが、安心・安全に子どもが遊べるよう、環境整備を行い、今後も引き続き運営していただきたい。			
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A		A		2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】			
(2-1) 経費の節減	A		A		(2-1) 経費の節減			
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	水道光熱費については、年間を通じて職員各自が意識して節減しました。利用者がいない時間帯は、部屋の照明を消し冷暖房を入れないよう節電に努めています。	A	今後も経費を節減できるところがないかの見直しを行い、継続して経費節減を期待します。	意見なし。			
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	職員は、常に経費の節減を意識しています。修理や物品購入時は必ず相見積りを行いました。	A	業者への発注や委託が適切に行われているかの点検にも着目して節減に努めることを期待します。	意見なし。			
< 課題 >	建物は37年が経過し、老朽化が進行しています。今後は修繕箇所が増加が見込まれます。安全面など、必要に応じて川西市と協議しながら改修等に取り組めます。		老朽化が原因で利用者が安心して過ごせないようなことがないように、修繕計画の取り組みを望みます。		意見なし。			
< 改善内容 >	壁紙や床ビニールシートの剥がれなど部分的で簡易なものは職員で修理しました。感染防止対策のための消毒液、ペーパータオルの使用量が不明であったため毎月記録することで年間の使用量を把握しました。		職員間で経費削減の意識をもって取り組みをされ、必要量の把握をするなど、経費の削減を積極的に実施している。		意見なし。			
(2-2) 収入の増加	評価なし		A		(2-2) 収入の増加			
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取組みを行ったか。			A					
収入の増加など取組みの効果は得られたか。			A					
< 課題 >								
< 改善内容 >								
(2-3) 収支のバランスなど	評価なし		A		(2-3) 収支のバランスなど			
収支のバランスは、適切であったか。			A					

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	川西市教育委員会 こども未来部 こども支援課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。			A					
収支の内容に不適切な点はなかったか。			A					
< 課題 >								
< 改善内容 >								
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】			
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A		(3-1) 管理運営の実施状況			
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	児童センターは3名の職員での配置でした。所長、事務員は老人福祉センターと兼務でした。事故防止や安全面、事務事業の円滑な運営のため、併設の老人福祉センターとの連携協力をしています。	A	老人福祉センターと一体的な運用に取り組み、連携を図りながら効果的な管理運用が出来ている。	意見なし。			
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	非常時に備え、「救命士講習」、「不審者対応講習」を受講しました。また、職員全員が「虐待研修」を受講しました。	A	業務に必要な研修を積極的に受講し、日々の業務に役立てている。	意見なし。			
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	修繕や物品購入については、相見積もりを取り、安価な業者を選びました。また、年に1回利用者アンケートを実施し、利用者の意見を把握した上で、サービスの質の向上に努めました。新型コロナウイルス感染対策として、常に換気や消毒、空調管理を徹底して行いました。	A	経費節減の取り組み、利用者アンケートにより質の向上を図り、また、コロナ感染対策を実施し、管理運営が適切に行われている。	意見なし。			
施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	新型コロナウイルス感染対策として、各部屋の換気やおもちゃ、手すりや机等の消毒を職員が毎日行い、利用者が安心して利用できる体制を取りました。	A	新型コロナウイルス感染対策の徹底により安心して利用できる環境の整備を行っている。	意見なし。			
< 課題 >		施設内での事故防止のため、児童センター及び老人福祉センター職員が、今まで以上に連携して施設内巡回の頻度を上げる必要があります。		適切な運営管理が出来るよう、職員間で連携しながら取り組みを継続することを期待します。	意見なし。			
< 改善内容 >		児童センターとしての機能や役割を果たせるよう、児童センター職員と老人福祉センター職員が協力し合いながら業務を遂行しています。		世代間交流など、地域における施設の特性を生かした事業を展開されるよう、運営を期待します。	意見なし。			
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		B		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など			
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	初回利用時には、川西市在住であることを確認した上で、登録手続きを行いご利用いただいております。また、法令に従った施設運営だけでなく、適切な業務を行うために、年1回社協本部による内部監査を実施し、改善に努めています。	C	法令を遵守し、適正な管理運営を行うとともに、職務遂行にあたって適切な対応を心がけられたい。	意見なし。			
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報に関しては、施錠できるロッカーで保管し、外部への持ち出しを禁止しています。	A	利用者の個人情報に配慮し、適切に取り扱われている。	意見なし。			
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	乳幼児の保護者へは、常に子どもの見守りをしていただくようお願いしています。児童に関しては、ケガや子ども同士での喧嘩等が起きないように、職員が館内を巡回し、声かけを行いながら見守りを行っています。	B	利用者の事故防止策を徹底し、利用者が安心して安全に利用出来るような体制の構築を望みます。また、児童に関しては、事故後の対応の工夫と情報の共有を行い、子どもの成長を見守っていただきたい。	意見なし。			
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	B	閉館後や休日の警備は、アルソックに委託しています。火災時の避難、誘導、通報、消火訓練を年2回実施しています。当センター(複合施設)では、再講習を受講した防火管理者の配置が必要ですが、人事異動により不在となっています。	B	警備体制、避難訓練は適切に行っている。再講習を受講した防火管理者が不在のため今年度中に再受講を進めていただきたい。	意見なし。			

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	川西市教育委員会 こども未来部 こども支援課	
区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	事故発生時(ケガや体調不良)、非常災害時対応のマニュアルやヒヤリハットのノートの作成、新型コロナウイルス感染症対策の冊子等も回覧し職員が情報を共有しています。また、「さすまた」を設置し、不審者対応講習を受講しました。	A	事故発生時や非常災害時の対応マニュアルの作成や不審者対応講習など、整備に取り組まれている。		意見なし。
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。	A	児童の遊具(バトミントンやビーチボール)、卓球台(3台)、ビリヤード台(中学生以上の)の利用は、時間制限を行い、子ども達が平等に利用できるよう配慮しています。主催事業申し込みの際、初めて参加する人を優先受付し、できるだけ多くの人に利用してもらえるように配慮しています。	A	利用者が平等に利用できる取り組みを行い、優先順位を決めるなど、配慮した取り組みが来ている。		意見なし。
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。		非該当		非該当		
< 課題 >		再講習を受講した防火管理者が人事異動により不在となっているため、現在の防火管理者が、令和4年度中に再講習を受講する必要があります。また、新たに地震発生時のマニュアルの作成が必要です。		再講習を受講した防犯管理者が不在のため再講習の受講を進めていただきたい。また、災害時の対応マニュアルの作成にも早急に取り組んでいただきたい。		意見なし。
< 改善内容 >		児童同士による正面衝突事故や職員の不適切な対応により怪我を負わせる事案がありました。その都度、職員対応の再確認と安全に利用できるよう見守り強化を行いました。年に一度、社協本部によって法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用などの監査を受け、問題があればその都度改善し、適正に施設運営を行っています。		事故対応後、職員の不適切な対応後の再発防止策を職員間で共有し、改善策の遂行を期待します。引き続き、法令順守等の体制の適正な施設運営に期待します。		意見なし。
総合評価		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価ランク	A		A			
・評価できる内容		コロナ禍での事業実施において、子ども支援課と綿密に連携を取り、市の方針に従って事業を進めました。時間短縮や参加人数を変更しながら継続して行うことができるように柔軟に対応しました。また、対面での事業実施が困難であったため、自宅での制作や川西児童館との連携事業を実施しました。		コロナ禍における事業実施の方法を模索し、利用者が安心して参加できるよう工夫し、利用者の声を反映させて事業を展開し、実施されている点などを評価します。また、利用者のニーズに対応できる事業を検討し、新たな事業に取り組まれたことは評価できる。		小学生向けの取り組みが増えることについて、利用者として参加してみたい。
・令和3年度に改善した内容		密を避けながら対面事業ができるよう、人数制限を行いながら2グループに分けるなど、多くの利用者に参加してもらえるよう事業の取り組み方を変えながら実施しました。保護者や児童へ積極的に声をかけていきました。		感染対策を講じて安心して利用できる環境を整えて実施できている。また、利用者への声かけにより不安の軽減やニーズの把握に繋がったことは評価できる。		意見なし。
・令和3年度に改善したことによる効果		実施事業を2グループ体制に変えたことで、多くの利用者に参加してもらうことができました。保護者や児童へのこまめな声掛けを行うことで、信頼関係を築き、日頃抱えている悩みなどを共感しあうことができました。		できるだけ多くの方に参加していただける工夫をされ、利用者との関係性を大切に、利用者が利用しやすいよう努力されている。		意見なし。
・問題があり次年度以降改善が必要な点		18歳までを対象とする児童センターとして、中高生の利用をどのように増やしていくかが課題です。コロナ禍で対面での事業ができない時の対応として、今後、オンライン事業もできるような環境整備が必要です。また、LINEでの事業案内の発信に加え、今後は、子育て情報などの発信やWebでの事業参加申込を導入し、利用者の利便性の向上を図る必要があります。		サービスの質の確保に向け、職員研修の充実を図るなど、事件や事故の再発防止を徹底されたい。また、様々な年齢層の利用者に対し、年齢毎のニーズに応じた事業を検討し、魅力ある事業の展開を期待する。感染対策を講じた事業の実施についても引き続き継続していただきたい。さらにラインの活用など情報発信の工夫により、多くの利用に繋がることを期待する。		意見なし。
・改善方法とその時期		中高生の利用については、夏休みなどの長期休みの自習室としての開放など利用を促すためのPRなどが必要です。また、オンライン事業等ができる環境整備は、次年度で予算要求を検討します。		地域の中高生が利用しやすい方策を検討し、久代児童センターにおける居場所づくりを期待します。また、オンライン事業の内容について、対象者、内容等の詳細な計画に基づき、より具体的な企画の内容を期待します。		意見なし。

【記入上の留意点】

(1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。

(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。